

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大型店と地域商業の連携・共棲プロジェクト
事業主体 (連絡先)	岡谷 TMO まちなか活性化推進本部 岡谷市郷田 1-4-11
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,470,746 円 (うち支援金 : 1,834,000 円)

事業内容

大型店が中心市街地へリニューアルオープンすることをチャンスと捉え、大型店、地域商業が連携し、共棲していく事を目的に実施。

高校生目線による、まちなかのマップの作成を通じ、広い世代に中心市街地の魅力を発信。

共通フラッグ、インフォメーションの連携を行うことで、大型店と地域商業の連帯感を生み出す。



【マップ作成取材の様子】

- ・ 地域商業者、大型店担当者、行政との勉強会の開催
- ・ 高校生主体によるまちなかマップ作成
- ・ 共通フラッグの作成 ・ インフォメーション連携

【目標・ねらい】

- ①大型店と地域商業の連携の必要性
- ②若者世代の参画
- ③大型店の集客を活かした、地域店への波及効果

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①マーケティングの知識や価値観などを共通の認識とすることで、共棲の意識で連携やまちづくりを行うことに役立てられた。
- ②マップ作成により、若者世代が岡谷に興味を持ち若者目線でのまちづくりへの参画のキッカケにするとともに、広い世代に中心市街地の魅力を発信することが出来た。
- ③共通フラッグ、インフォメーションの連携を行うことで双方のPR・連帯感を生み出すことが出来る。

※自己評価【A】

【理由】

- ・ 近隣には類を見ることが少ない取り組みであった。
- ・ 若者世代を巻き込んだマップの作成。
- ・ 既存商業会での共同のイベント等が実施されるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

各イベント時におけるスタンプラリーなどの会場に大型店を入れることにより、まちなかを歩くキッカケを今後も実施していく。

マップについては、活動を継続させるため、引き続き学生との連携を図り、岡谷の魅力発信と人材育成に取り組む。

インフォメーション連携は双方の情報を掲載し引き続き行っていく。共通フラッグについても祭事等のフラッグ掲載が無い時期に常時掲載を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)